

平成29年度

白井市の決算



白井市役所

市では、皆さんに納めていただいた税金をはじめ、国・県の補助金や借入金などを基に行政運営を行っています。平成29年度に市がどれだけの費用をどのように使ったかをお知らせします。

図 財政課財政班 内線3331～3

お知らせコーナー

一般会計の決算

平成29年度の一般会計決算は、平成28年度から実施していた庁舎整備事業の工事が完了し、約25億円を支出したことなどから、過去最大の規模となりました。

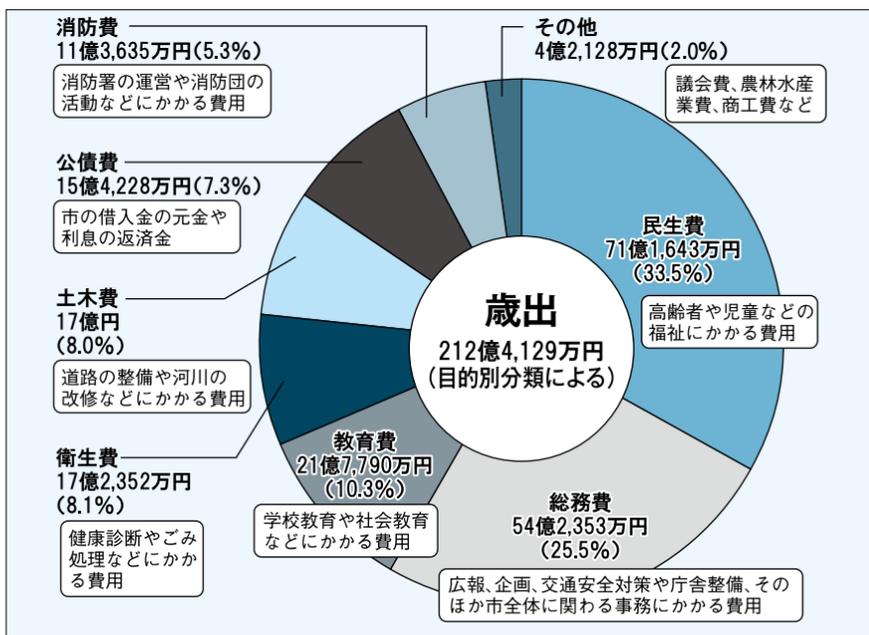
歳入（収入）222億3,094万円（市の貯金である財政調整基金の取り崩し6億6,550万円を含む）、歳出（支出）212億4,129万円で、差し引きは9億8,965万円の黒字となりました。この中には、国の補助対象事業の採択が年度後半となったことなどの理由に

より平成29年度で完了しなかったため、平成30年度に繰り越しして引き続き実施する事業などに使う財源1億713万円が含まれています。

これを差し引いた実質的な平成29年度の収支は8億8,252万円の黒字となります。歳入・歳出の内訳は下図のとおりです。

※表中の数値は万円単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しないところがあります。

歳出



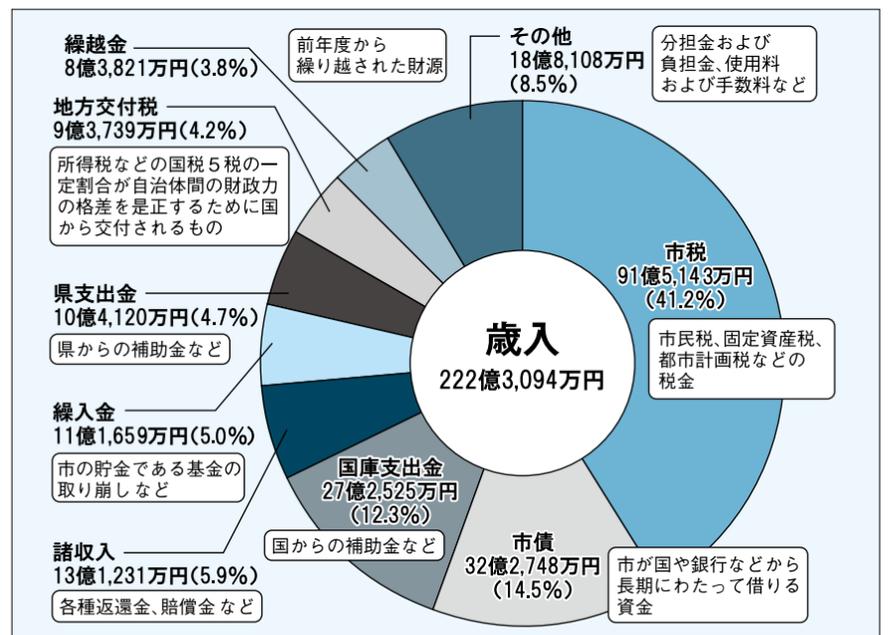
歳出総額は、平成28年度と比べて11億582万円（5.5%）増加しました。主な要因は次のとおりです。

土木費は、千葉県企業土地管理局および独立行政法人都市再生機構からの負担金歳入のうち、5億1,463万円を基金に積み立てたことなどから、6億1,057万円（56.0%）増加しました。

衛生費は、市営水道事業における配水場建設への出資を行ったことなどから、2億3,982万円（16.2%）増加しました。

教育費は、生徒数の増に伴う大山口中学校校舎増改築事業などにより1億7,425万円（8.7%）増加しました。

歳入



歳入総額は、平成28年度と比べて12億5,726万円（6.0%）増加しました。主な要因は次のとおりです。

諸収入は、千葉県企業土地管理局および独立行政法人都市再生機構から千葉ニュータウン事業に係る白井市道等整備に対する負担金として5億4,825万円の歳入があったことなどにより、平成28年度と比べて7億7,640万円（144.9%）増加しました。

国・県からの支出金は、対象事業費の増額などに伴い、計2億5,932万円（7.4%）増加し、市債（借入金の収入）は、市営水道事業における配水場建設への出資に係る借入額が増加したことなどにより、1億5,489万円（5.0%）増加しました。

歳入の約4割を占める市税は、固定資産税の増加などにより1億4,120万円（1.6%）増加、徴収率も0.1ポイント向上し、92.4%となりました。

8日(土) 金山落の桜並木をクリーンアップ!!



きれいにしませんか

手賀沼統一クリーンデーに家族で参加しませんか。

清掃場所は、金山落（名内橋から今井3号橋の桜並木）です。

清掃後は、温かいばらっばまんじゅう（千葉のふるさと料理）を食べたり、神々廻市民の森でカブトムシの幼虫を見学したりできます。

市民の森入り口花壇で採れた花の種などを差し上げます。

日時 8日(土) (小雨決行、荒天中止)

集合時間・場所 午前9時・白井市役所東庁舎玄関前

※マイクロバスで送迎します。終了予定時間は正午です。

定員 一般45人（申し込み順）

※作業しやすい服装で参加してください。

申・問 6日(木)正午までに、環境課環境保全・放射線対策班 ☎401-5409

青色決算説明会・消費税説明会

成田税務署では、「所得税の青色申告決算書の作成」「消費税及び地方消費税の申告書の書き方」などについて説明会を開催します。

日程・場所 5日(木)・八街市中央公民館2階小中会議室、6日(木)・印西市役所3階大会議室、7日(金)・成田市中央公民館講堂、10日(月)・千葉県印旛合同庁舎2階大会議室

時間 午後1時～3時

なお、個人で事業や不動産貸し付けを行う人は、記帳と帳簿書類の保存が必要です。

詳しくは、国税庁ホームページ「個人で事業を行っている方の記帳・帳簿等の保存について」を確認してください。

また、自宅のパソコンなどから確定申告書を送信（提出）する方法として、これまでの「マイナンバーカード方式」に加え、平成31年1月から「ID・パスワード方式」が導入されます。

説明会の終了後に「ID・パスワード方式」を利用するための「ID・パスワード」を発行しますので、希望する人は運転免許証などの本人確認書類を持参してください。

問 成田税務署個人課税第一部門 ☎0476-28-5151 内線212（音声案内にしたがって「2」を選択してください）

講座などの申し込み開始日は1日から（休所・館の場合は翌日）です

一般会計以外の決算

平成29年度の特別会計および企業会計の決算は下表のとおりで、5つの特別会計は黒字になりました。

特別会計

会計	歳入	歳出	差し引き
国民健康保険	73億4,139万円	69億1,746万円	4億2,393万円
介護保険	35億7,074万円	33億5,785万円	2億1,289万円
後期高齢者医療	6億1,764万円	6億1,318万円	446万円
下水道事業	10億5,014万円	9億7,251万円	7,763万円
学校給食共同調理場事業	5億6,364万円	5億5,421万円	943万円

※下水道事業の差し引きには、翌年度へ繰り越して実施する事業に使う財源173万円を含みます。

企業会計

事業名	歳入	歳出	差し引き
水道事業 収益的収支	5億6,534万円	4億9,697万円	6,837万円
事業 資本的収支	9億2,414万円	9億8,275万円	△5,861万円

※表中の「△」はマイナスを表します。資本的収支の不足額は留保資金などから補てんしました。

地方債の残高

地方債は、将来にわたって利用する道路や公共施設の建設など、その費用を現在の市民だけでなく将来の市民にも負担してもらうことが公平である場合、国や金融機関などから借り入れる市の借金です。

平成29年度末の地方債残高は下表のとおりです。

地方債の残高

区分	地方債残高	市民1人あたり
総務債	135億4,883万円	212,457円
教育債	45億6,502万円	71,583円
土木債	8億3,922万円	13,160円
衛生債	7億3,514万円	11,528円
民生債	4億6,681万円	7,320円
消防債	4,557万円	715円
農林水産業債	320万円	50円
下水道事業債(特別会計)	20億8,544万円	32,701円
水道事業債(企業会計)	8億864万円	12,680円
合計	230億9,787万円	362,194円

※平成30年3月31日現在の住民基本台帳人口63,772人で計算しています。

健全化判断比率・資金不足比率の状況

財政の早期健全化の必要性を判断するための「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成29年度決算による財政状況を示す「健全化判断比率」を算出すると、全ての指標(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率)で財政健全化計画を定める必要がある早期健全化基準を下回りました。

公営企業の経営状況の悪化の度合いを示す資金不足比率については、対象となる市の公営企業(下水道事業、水道事業)に資金不足が生じなかったため、数値の算定がされませんでした。

市の財政状況および公営企業の経営状況は、ともに健全であることを示しています。今後も健全な財政状況の維持に努めていきます。

健全化判断比率

(単位 %)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
白井市	—	—	1.1	15.3
早期健全化基準	13.12	18.12	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	基準数値なし

資金不足比率

(単位 %)

会計名	資金不足比率
白井市水道事業会計	—
白井市下水道事業特別会計	—
経営健全化基準	20.0

平成29年度に実施した主な事業・事業費

事業名	事業費	内容
庁舎整備事業	24億9,258万円	市庁舎の耐震性能不足、各種設備の老朽化などの問題に対応するため、基本計画、基本設計、実施設計に基づき、平成28年度からの継続事業として新築棟建設および減築棟改修工事を実施(全工程完了)
子ども医療費助成事業	2億4,456万円	子育て中の保護者の経済的負担の軽減と子どもの保健対策の充実を図るため、中学3年生までの子どもの入院・通院・調剤に係る医療費の助成を実施
市道新設改良事業	8,753万円	歩行者などの安全性の向上や道路ネットワークの構築を図るため、一般市道12-002号線(富士地先)の拡幅改良や平成30年度施工箇所の用地買収などを実施
西白井地区コミュニティ施設整備事業	2,029万円	西白井地区における地域住民同士の交流やふれあいを深めることを目的に、地域づくりの活動拠点を整備するため、施設の基本設計・実施設計を実施
近居推進事業	1,453万円	若い世代と高齢者世代が互いに支え合い安心して暮らせるまちづくりのため、市内に居住する親世帯と同居または近隣に居住することを目的に住宅の購入などを行い、転入した人に対して補助金を交付
森のグラウンドワーク推進事業	30万円	市民や市民団体と協働により自然環境の保全や創造活動を行うため、「神々廻市民の森」において、花の植栽やウッドチップの敷き詰めにより入口を整備したほか、千葉大学大学院と共催による子どもや親子を対象としたイベントを実施

※この他の主要事業は、市のホームページで公表しています。

市の財産

平成29年度末に市が保有する土地や建物などの財産は、下表のとおりです。

土地	1,261,604平方メートル	
建物	151,353平方メートル	
有価証券	1億4,186万円	
無体財産権	商標権(なし坊ファミリー)1件	
債権	損害賠償金2,363万2千円および、これに対する未収利息8,381,266円	
出資による権利	3億1,802万1千円	
自動車	41台	
基金	土地	40,412平方メートル
	現金	44億8,652万円
	債権	5億6,002万円

発見!白井の仕事人 69

こだわりの味を届けたい

栄久庵

今回は、中木戸公園近く、風間街道沿いに店を構える「栄久庵」を紹介しよう。

外観は、屋根が瓦の古くからの日本家屋を思わせる建物です。入口にはタヌキの置物が置いてあり昔ながらのそば屋を思わせる佇まいとなっています。



栄久庵の入口



明るい店内

店主で創業者の渋谷栄久さんに話を聞きました。栄久庵は群馬県で「上州そば」の修行をした渋谷さんが平成3年12月に創業しました。店名の由来は一緒にそばの修行をしていた渋谷さんの兄の名前と一文字ずつ使用したものがよいのではと渋谷さんの父が考えました。

渋谷さんは「現在は周辺も栄えています。創業当時は店も少なかった場所ですが、現在は店も増えて営業してきました」と語ります。現在、働いている従業員はなんと全員が開店当初から在籍している人で、店の強い思いと確かな経験に裏付けられた技術により料理が作られています。そばやうどんは手打ちで、そばは1日3回5回ほど打ちます。通常の店では1キップ作るそばですが、経験、技術力を兼ね備えた職人によって6キップ、人数にすると40人前ずつ作っています。

人気のメニューは「天ざる」で、他にも、そばに天丼やかつ井やまぐろ丼が付くセットメニューもおすすです。かつ井は黒豚を使用、まぐろは船橋市地方卸売市場の丸光水産(仲卸店)と提携して仕入れています。そばつゆにもこだわり、使しようゆは高級品を使用し、しょうゆにみりん、砂糖を合わせて作る「返し」も手間のかかる「半生返し」をして1カ月ねかすなどしています。

また、使用する野菜は市内の奥さんの実家などで作られたもので一部は店内で安価で販売しています。

渋谷さんは最後に、「品質の高いものを出していると自負しています。このまま真面目に正直に、店の拡大などは考えず、この白井の土地で店を愛してくる皆さんに料理を提供していきたい」と話してくれました。

皆さんもこだわりのそばをおなかを満たしてはいかがでしょうか。

産業振興課商工振興班 内線 3241